

各種団体等インタビュー実施結果報告書

1. 目的

第3次横芝光町総合計画の策定に向け、現在まちづくり活動に携わる各種団体の意見を聞くとともに、まちづくりの担い手である各種団体との連携・協力により、計画の実効性を高めていくため、団体インタビューを実施しました。

2. 実施方法

事前にアンケートを実施し、各団体の活動概要や町の課題、未来の展望などを記載いただいた上で、分野ごとに複数団体が一同に会して、インタビューおよび意見交換を行いました。

3. 日程・対象団体

日時	主な関連分野	団体名
令和7年 2月18日（火）	都市基盤・環境、安全安心	交通安全協会／防犯協会／消防団／不法投棄監視員／自然保護指導員／行政総務員連絡会／社会教育委員会議
	産業振興	農業振興会／観光まちづくり協会／商工会／雇用管理協議会／横芝光町航空機騒音等対策協議会／移住定住サポートセンター／農業振興会青年部会／農業振興会女性部会／商工会青年部／商工会光町女性部
令和7年 2月21日（金）	福祉・保健・医療	横芝光町民生委員児童委員協議会／保健推進員／食生活改善普及会／生き生きクラブ／赤十字奉仕団／社会福祉協議会
	人権・交流・コミュニティ	保護司会／更生保護女性会／ボランティア連絡協議会／婦人会／多文化共生プロジェクト
	教育・生涯学習	子ども会育成連絡協議会／文化財審議会／スポーツ推進委員／宿泊組合

4. 意見の概要

(1) 横芝光町での活動における課題

【活動の担い手確保・育成】

- ・ボランティアに参加できる人材がいない。
- ・役員の選任が年々困難になっており、成り手がいない。
- ・担い手が固定化しており、重複して役割を担う人も多い。
- ・プライバシーに関する事項を扱う場合は、負担が大きい。
- ・担い手が高齢化し、後継者不足。若い人がいないので活動を引き継いでいけない。
- ・人口減少、特に若者が減少する中、いかに人材を育成していくか。
- ・消防団はじめ若手はいざという時に出勤できない人もいる。
- ・現役で仕事をする世代が担い手となる場合、負担を軽減するような支援が必要。
- ・個人の生活支援には、隣近所で助け合う体制づくりも必要。

【活動の PR・理解醸成】

- ・町会への加入が減少している。
- ・行事やイベントなどの参加者が固定化している。
- ・活動内容が知られていないので広報活動や PR が必要。
- ・引きこもりがちな方やコミュニケーションを求める方に情報をどのように届けるか。

(2) 未来の横芝光町への期待や展望

【福祉・保健・医療関連】

- ・東陽病院は地域医療に不可欠で、小児科があればなおよい。広域で医療をカバーする。
- ・将来にわたって医療費を低減し、健康寿命を延伸する。
- ・地域の健康に関するデータを活用し、予防や健康づくりを進める。
- ・若い母親が子育てしやすいよう支援する。

【教育・生涯学習関連】

- ・子どもの居場所づくりを進める。
- ・子どもたちに体験の機会をつくり、誇りを醸成する。体験格差の是正。
- ・子どもに町の歴史（鬼来迎や成田山御本尊上陸の地など）を学ぶ機会をつくる。
- ・学校給食での地産地消を進め、農業への関心を高める。
- ・文化活動や学習の拠点となる施設として、統合する小学校（上堺小、日吉小）の用地を活用する。農の拠点、外国人の居住や研修の場、日本語学習の場などとしての活用も。

【都市基盤・環境、安全安心関連】

- ・駅前通りや駅北側を活性化する。
- ・海のこどもの国跡地を有効活用し、農や食の企業立地を促す。
- ・広域的な公共交通（成田へのビジネス便など）や町内移動の利便性を向上する。
- ・学校教育の中で町の自然をPRし、子どもの頃から自然に関心を持たせる。
- ・全国的にも危険な交差点への対策など、安全な道路を整備する。

【産業振興関連】

- ・農業後継者問題は待ったなし。配偶者の確保も必要。
- ・農業をやりたい人に住まいも含めて就農を支援する。
- ・儲かる農業がとても大切。例えば、観光と農業を組み合わせる稼ぐ。
- ・観光の担い手が少ないので、梅まつりなど町民にPRし担い手として参加してもらう。
- ・町の知名度アップ、若者向けの体験メニューなどより、関係人口を増やす。
- ・坂田池や栗山川を活かした観光やイベントの充実。
- ・若者が進学して戻って来られるような仕事の選択肢をつくる。
- ・魅力ある企業を誘致して、働きたいと思える仕事をつくる。
- ・移住定住を促すため、空き家や空き地の情報を集約する。興味を持ってくれた人をマッチングできない状況があるので、空き家バンクは喫緊の課題。
- ・移住に対する手当ばかりが厚いので、従来から住んでいる人を大切にしてほしい。移住よりも定住に力を入れるべき。
- ・都会的な楽しさではなく、横芝光町ならではの楽しさ（人と人とのつながり、自然とのつながり）を大切にする。
- ・今いる子どもたちが住みたい、住み続けられるまちとする。
- ・成田空港の機能拡大に伴う雇用増や移住者の計画的な受け入れ態勢が必要。
- ・空港と距離が近い割に通勤しづらいので、通勤ルートの確保が必要。
- ・空港の恩恵を町の大人たちが認識して、空港ありきのまちをアピールする。
- ・空港と共生するまちづくりをより具体的に考える。

【人権・交流・コミュニティ関連】

- ・外国人労働者やその家族など、外国人と共生するまち。就学、就労、医療の支援。住民の理解を促す。
- ・祭りやイベントの魅力を向上し、子どもをはじめ参加者を増やす。
- ・男女が偏りなく共に地域に参加する。子どももボランティアに参加する。
- ・小学校の統合は進めるとしても、小学校区単位でのコミュニティや新しい地域のつながりをつくる。